

戦 評

大会名 第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

会場名：盛岡タカヤアリーナ

男子決勝

主 審：田 中 哲

副 審：新 沼 美 穂

試合結果

一関修紅 3 { 25-20
17-25
25-23
25-18 } 1 盛岡南

試合時間 1時間38分

県内大会三冠で有終の美を飾りたい盛岡南と、2年ぶりの優勝を狙う一関修紅との対戦となった決勝戦。第1セット、ピンチサーバー3番荒木のサービスエースで一関修紅が波に乗り、リードする。対する盛岡南は4番佐々木（優）、9番山口のスパイクで反撃するも最後は一関修紅1番及川のスパイクでセットを取った。第2セットは盛岡南の14番竹花のスパイク、9番山口のサーブで一関修紅の守備を乱し、盛岡南が奪取した。第3セット、第4セットは一関修紅1番及川、4番村田が打点の高いスパイクや、緩急をつけたサーブで岡南を攻めた。盛岡南は4番佐々木（優）、14番竹花の相手ブロックを良く見たスパイクで反撃を試みる。一関修紅はリベロ11番佐藤を中心としたレシーブ陣がブロックのワンタッチボールを正確に処理。セッター5番山崎も正確なトスをアタッカーに配球し2セットを連取。15回目の優勝を決めた。

戦評者：手 島 瑞 夫

